

2022（令和4）年度 埋蔵文化財の活用

2023年 3月 3日
阿賀野市生涯学習課

1. 企画展『縄文人と算数・数学』の開催

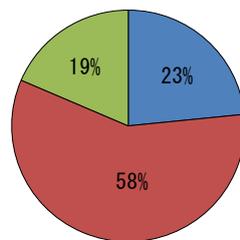
2022年4月22日～9月25日、新潟県埋蔵文化財センターと県内下越5市町（新潟市、村上市、胎内市、阿賀町、阿賀野市）が『地味にすごい！下越の縄文時代』を共同開催しました。市歴史民俗資料館では、企画展『縄文人と算数・数学』を開催し、土橋遺跡（縄文時代後期）出土品などを展示・解説しました。

少し苦手だけれど知的好奇心をくすぐられるテーマであったため、見学者からは「とても興味深かった」、「学校で習ったことを思い出した」、「縄文人も数学的感覚を持っていたことがわかった」などの感想が寄せられました。

資料館が土・日・祝日の開館にもかかわらず、開催期間中は市内外から534名もの見学者が来館しました。見学者の住まいは、市内23%に対して市外77%で、圧倒的に市外からの見学者が多くなりました。これまで実施した見学会、展示会（市内6割、市外・県外4割）とは対照的です。県外からの見学者は全体の19%を占めています。合同企画展6か所すべてを見るため県内に数日滞在し、宿泊施設を利用した方も多かったようです。



■ 県内（阿賀野市内） ■ 県内（阿賀野市外） ■ 県外



左：展示の様子、右：見学者の住まい

2. 資料館講座の開催に向けての研修

2022年8月4日、市歴史民俗資料館において『プロカメラマンから学ぶ撮影講座』を開催しました。講師はプロカメラマンの鶴田浩規さんです。誰でもできるスマートフォンやタブレットを使った写真・動画撮影のコツを教えてくださいました。

今回の研修は、資料館で開催する講座準備のため試みとして行ったものです。当日は市内遺跡資料整理に従事する作業員、ドイツ・テュービンゲン大学留学生など7名が参加しました。翌日、留学生のマーラさんと瓢湖、旦飯野神社などの市内観光地をめぐり、さっそく動画撮影にチャレンジしました。



市歴史民俗資料館での研修の様子

3. 石船戸遺跡出土品が県有形文化財に指定

2023年2月、新潟県文化財保護審議会の答申を受けて、石船戸遺跡（縄文時代晩期）の出土品（824点）が新潟県有形文化財（考古資料）に指定されることが決まりました。市内にある県指定文化財は12件目になります。

指定された出土品には、土器や石器のほか、県内最大の大きさを誇る「遮光器土偶」も含まれています。2023年度、市歴史民俗資料館で企画展『仮）石船戸遺跡展』を開催する予定です。ご期待ください。

4. 2022年度の出土品見学など

毎年、市内遺跡出土品の見学希望を受け付けています。今年度も大勢の方が見学しました。その中で、もっとも遠くからの見学者は、愛知県の中学3年生でした。彼はTwitterなどで「古墳王子」としても知られ、TVやラジオなどにも出演している有名人です。



土橋遺跡から出土した焼人骨に興味を持ち、「愛知県内の縄文時代晩期貝塚で多く見られる盤状集骨葬と似た焼人骨が、なぜ新潟県の後期遺跡から発見されたのか」疑問に思い見学に来たそうです。阿賀野市の遺跡が全国的に知られ、注目を集めていることを実感した出来事でした。

5. 2022年度の埋蔵文化財貸し出し、調査研究など

ツベタ遺跡（縄文時代中期）土偶写真の使用など3件、石船戸遺跡・発久遺跡（平安時代）出土品など展示会貸し出し3件、調査研究のためのツベタ遺跡出土品貸し出し1件の申請を受け付け、許可しました。